



# 西区のまちづくりの方向性



玄界灘、脊振山系などの豊かな自然環境と優良な農地に恵まれるなか、区南部や西部では戸建住宅地の開発や鉄道沿線でのマンション建設が活発であるなど、住宅を中心とした市街地形成が進んでいます。

西区では、豊かな自然と調和を図りながら九州大学移転に合わせたまちづくりを進めるとともに、地下鉄七隈線や平成外環通りの開通を契機とした新たな魅力とにぎわいを創出するまちづくりをめざします。



▲九州大学伊都キャンパス



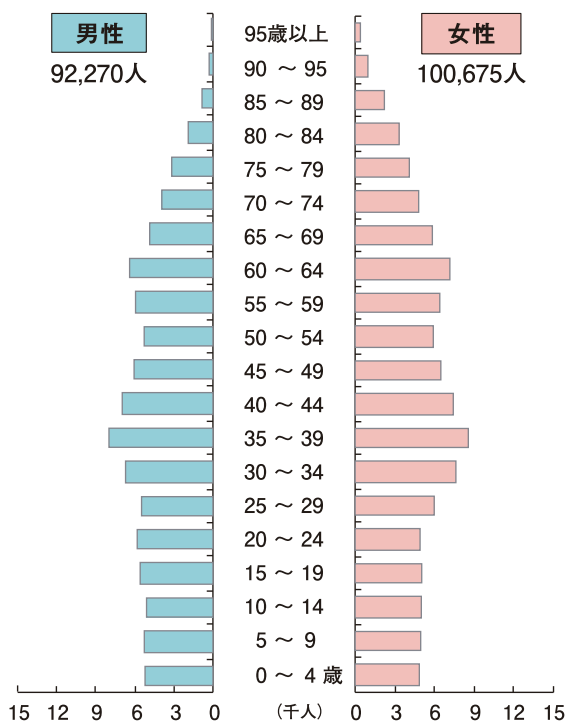
▲西浦

■西区 人口と高齢化率の推移(国勢調査)



	平成12年	平成17年	平成22年
人口	166,676	179,387	193,280
増減率	7.8%	7.6%	7.7%
15歳未満	26,932	28,347	30,181
割合	16.2%	15.8%	15.6%
15~64歳	115,406	120,391	126,224
割合	69.2%	67.1%	65.4%
65歳以上	24,275	30,026	36,540
割合	14.6%	16.7%	18.9%

■西区 5歳階級別人口



資料:平成22年国勢調査(注)年齢不詳を除く

## 《まちづくりの方向性》

### 交流

○九州大学伊都キャンパス及びその周辺(元岡・桑原)では、キャンパス移転に合わせ、学術研究都市の中心となるまちづくりを進め、今宿・周船寺と連携し、アクセス道路も含めた一体的な拠点地域の形成を進めます。

### 活力

○今宿・周船寺では、伊都土地区画整理事業を進めながら、行政サービス機能や日常生活に便利な機能を備えた魅力的な区西部の拠点づくりを進めます。

### 活用

○姪浜では、西区の中心拠点として利便性を生かした拠点形成を進めます。また、伝統ある寺社や町家などが多い地区では、地域との共働により歴史を生かした景観づくりを進めます。

### 快適

○橋本では、平成外環通りを生かし、地下鉄七隈線への乗り継ぎ機能の充実を図りながら、日常生活の利便性を高める商業機能などを備えた西区南部地域の地域拠点づくりを進めます。

### 環境

○住宅を主とした地区では、ファミリー世帯を中心とした快適で安全な生活ができる住宅地づくりを進めます。

○市街化調整区域では、地域コミュニティの活性化に向け、地域の主体的なまちづくりの取組みを支援します。また、プロジェクト周辺地区では、新しいまちと既存のまちが共存・調和するまちづくりを進めます。

### 安全

○日常生活や地域コミュニティの維持などに重要な役割を果たす生活交通について、関係者の協力と連携のもとその確保に努めます。

○飯盛山などの脊振山系から糸島半島に連なる緑の山並みや貴重な動植物が生息する今津湾、市民の憩いの場となっている室見川などでは、福岡市の貴重な自然環境や景観資源として保全を図ります。



○災害時などの安全を確保するため、瑞梅寺川などでは浸水対策を進めるとともに、狭あい道路の多い地区では、道路環境の改善を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

# 西区の将来像とまちづくりの視点



全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの視点などについて、以下のとおりに整理します。

## ● 拠点など


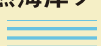
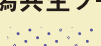

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点	
<b>地域拠点</b> 	<p>《姪浜》 にぎわいのある古くからのまちと新たに生まれたまちが調和した、利便性が高く魅力的な街並みを持った地域の拠点となるまち</p> <p>《今宿・周船寺》 地域交流センターなどの複合施設や商業、住宅機能が集積し、西部地域の新たな拠点となるまち</p> <p>《橋本》 鉄道駅を中心に商業・サービス機能及び交流機能が集積し、魅力とにぎわいを創出する地域の新しい拠点となるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通結節点にふさわしい土地利用の誘導</li> <li>○駅前の魅力ある顔づくりとゆとりある駅前空間の形成</li> <li>○鉄道駅周辺のゆとりあるオープンスペースの確保</li> <li>○商店街の活性化</li> <li>○地域拠点にふさわしい景観の誘導</li> <li>○多様な行政サービス機能や商業機能などの適正な誘導</li> <li>○周辺から鉄道駅へのアクセスの充実</li> <li>○駐輪場などの確保</li> </ul>	
<b>活力創造拠点 (九州大学伊都キャンパス及びその周辺)</b> 	九州大学学術研究都市の核として、学生や研究者などが、新たな知を創造し、発信する研究開発拠点の形成を図る地区	<b>九州大学伊都キャンパス</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究開発機能、産学連携機能の集積</li> <li>○学生、研究者などを対象とした居住、生活サポート機能の整備</li> <li>○今宿・周船寺へのアクセスの強化</li> </ul>
		<b>九州大学伊都キャンパス周辺ゾーン</b> 	
<b>生活商業地</b> 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活に対応した商業・サービス機能の強化</li> <li>○安全に歩ける歩行空間の形成</li> </ul>	
<b>地下鉄七隈線駅周辺ゾーン</b> 	鉄道駅を中心として利便施設が集まったまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道駅周辺としてふさわしい土地利用の誘導</li> <li>○魅力ある街並みの形成とオープンスペースの確保</li> <li>○周辺地域から鉄道駅へのアクセス性の向上</li> </ul>	

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市計画道路などの整備状況に応じた土地利用の誘導</li> <li>○沿道の有効利用</li> <li>○連続性のある良好な街並みの形成</li> </ul>
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○後背地などの周辺環境への配慮</li> <li>○交通ネットワークの形成</li> </ul>

## ● 将来のまちづくりを検討するエリア

ゾーン	まちの将来像	まちづくりの視点
プロジェクト周辺ゾーン 	九州大学移転や伊都土地区画整理事業、地下鉄七隈線橋本駅周辺整備などのプロジェクトと連携したまちづくりゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九州大学移転や伊都土地区画整理事業、地下鉄七隈線橋本駅周辺整備などと連携したまちづくり</li> <li>○計画的な土地利用転換の誘導と集団的な農地の保全・利用</li> <li>○集落環境の保全と活性化</li> </ul>
跡地活用検討ゾーン(西部市場) 	市街地内の貴重な活用可能地として、新たな機能の導入などを検討するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的な視点での跡地活用の検討</li> </ul>

## ● 環境資源などを保全・活用するエリア

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
森の緑活用空間 	山や森林に囲まれ、市民や来街者が自然とふれあえるレクリエーションと憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯盛山や叶岳の豊かな自然や歴史資源の活用</li> </ul>
自然海岸ゾーン 	市民が身近な自然とふれあえる水際線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然海岸の保全</li> <li>○周辺自然緑地空間との連携</li> </ul>
干潟共生ゾーン 	貴重な動植物が生息する干潟と水際	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水質の改善と保全</li> <li>○自然環境や自然景観の保全</li> </ul>
河川緑地軸 	室見川など、地域の散策・憩いの場となるとともに、緑と広がりのある景観が連続したゆとりと潤いのある水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で快適な都市基盤の整備</li> <li>○河川沿いの緑化などの美しい都市景観の形成</li> <li>○親水性の向上</li> </ul>

●土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア

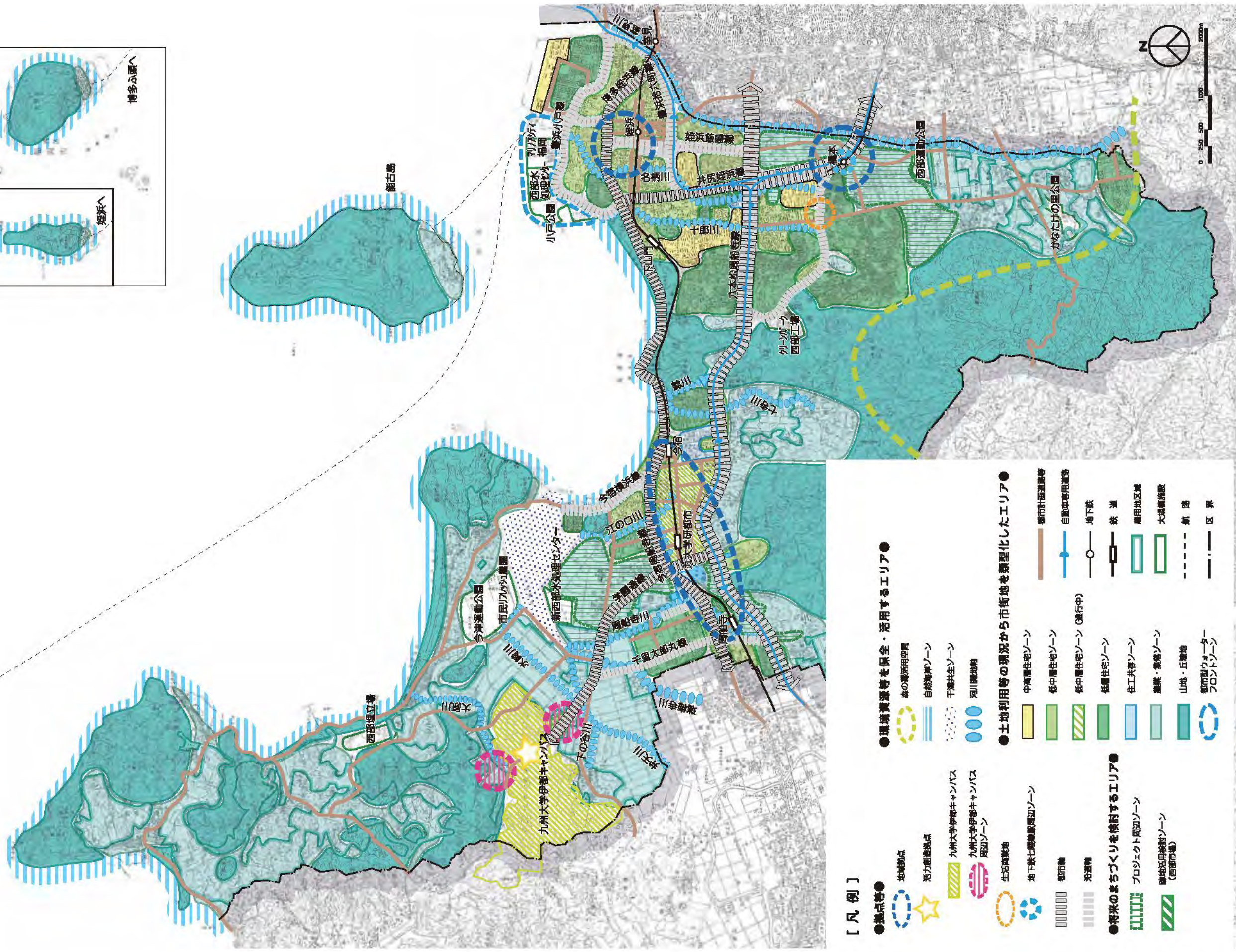
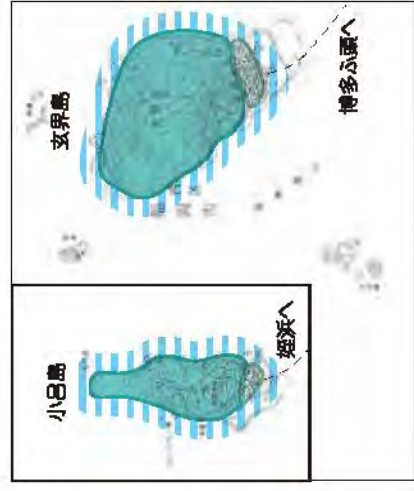
ゾーン	現況	まちづくりの視点
<b>中高層住宅ゾーン</b> 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅で形成される住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中高層住宅地としての良好な住環境の保全・形成</li> <li>○緑化の推進</li> <li>○大規模団地などの老朽化に対する適切な対応</li> </ul>
<b>低中層住宅ゾーン</b>   (進行中)	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低中層住宅地としての良好な住環境の保全・形成</li> <li>○緑化の推進</li> <li>○低層住宅と中層住宅の調和</li> <li>○狭あい道路の改善</li> </ul>
<b>低層住宅ゾーン</b> 	戸建住宅などの低層住宅を主とする住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低層住宅地としての良好な住環境の保全・形成</li> <li>○緑化の推進</li> <li>○老朽化した戸建住宅などの課題への対応</li> <li>○狭あい道路の改善</li> </ul>
<b>住工共存ゾーン</b> 	工場や倉庫、事業所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅の多い地区での良好な市街地環境の保全・形成</li> <li>○敷地内緑化などによる緩衝機能の強化</li> </ul>
<b>農業・集落ゾーン</b> 	市街化調整区域内で農地が広がり農村集落などが分布するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな自然や農地の保全</li> <li>○集落環境の保全と活性化</li> <li>○農業・漁業の活性化</li> </ul>
<b>山地・丘陵地</b> 	地域の景観を特徴づける緑豊かな山並みや海岸線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緑地の保全・育成</li> <li>○無秩序な開発の抑制</li> </ul>
<b>都市型ウォーターフロントゾーン</b> 	市民が海とふれあい、楽しめる都市型ウォーターフロント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マリーナと一体となった拠点づくり</li> <li>○海の魅力を生かしたまちづくり</li> </ul>





# 西区の将来像図

※この将来像図は、全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて分類した拠点・ゾーン・軸を示した図面です。



## 【凡例】

- 拠点等
  - 地域拠点
  - ★ 活力拠点
  - 生活商業地
  - 地下鉄七隈線駅周辺ゾーン
  - 都市圏
  - ||||| 沿道軸
- 環境資源等を保全・活用するエリア
  - 森林の活用空間
  - 自然海岸ゾーン
  - 干渉共生ゾーン
  - 河川緑地帯
- 将来のまちづくりを検討するエリア
  - プロジェクト周辺ゾーン
  - 駅前活用検討ゾーン (西部市域)
- 土地利用等の現況から市街地を類型化したエリア
  - 中高層住宅ゾーン
  - 低中層住宅ゾーン
  - 低層住宅ゾーン (進行中)
  - 低層住宅ゾーン
  - 住工共生ゾーン
  - 商業・業務ゾーン
  - 山地・丘陵地
  - 都市型ウォーターフロントゾーン
- 交通軸
  - 都市計画道路等
  - 自動車専用道路
  - 地下鉄
  - 鉄道
  - 専用地区域
  - 大規模施設
  - 航路
  - 区界



# 西区《現況・課題》

● 西区は、玄海国定公園の景勝である生の松原から西浦に至る美しい海岸線と、能古島や玄界島、小呂島などの島、飯盛山などの脊振山系から糸島半島に連なる緑の山並み、貴重な動植物が生息する今津湾、市民の憩いの場となっている室見川を擁した豊かな自然環境に恵まれた地区となっています。また、耕作地面積が福岡市全体の半分以上を占めるとともに、福岡市の重要な漁業の拠点になるなど、市内でも有数の生鮮食料供給地として、農林水産業が盛んになっていますが、後継者不足による農漁業従事者の減少が続いています。

● 西区には、古代から大陸文化が伝来し、吉武高木遺跡や元寇防壁をはじめとする歴史的資産も数多く点在しています。

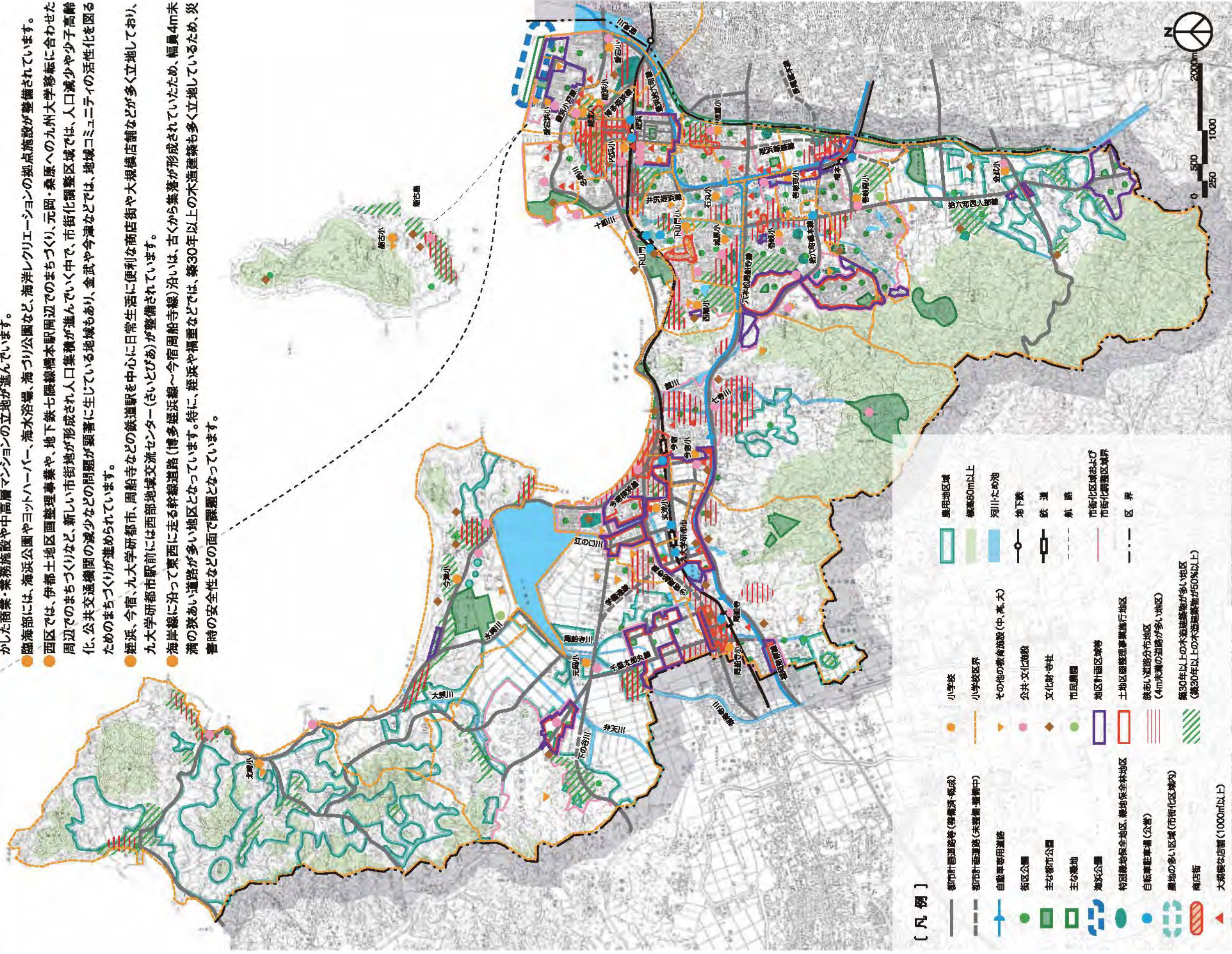
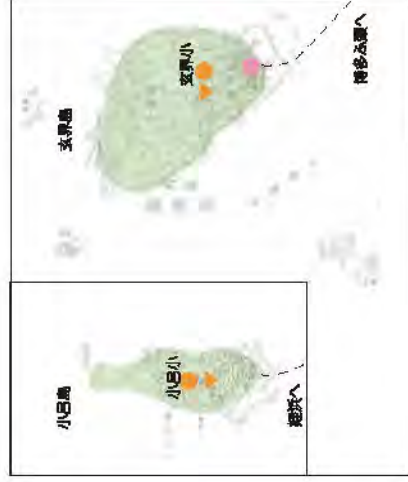
● 経浜駅の周辺は、区役所、市民センターなどの公共施設や、商業施設などが集積し、地域拠点として発展しており、利便性を生かした商業・業務施設や中高層マンションの立地が進んでいます。

● 臨海部には、海浜公園やヨットハーバー、海水浴場、海づり公園など、海洋レクリエーションの拠点施設が整備されています。

● 西区では、伊都土地区画整理事業や、地下鉄七隈線橋本駅周辺でのまちづくり、元岡・桑原への九州大学移転に合わせた周辺でのまちづくりなど、新しい市街地が形成され人口集積が進んでいく中で、市街化調整区域では、人口減少や少子高齢化、公共交通機関の減少などの問題が顕著に生じている地域もあり、金武や今津などでは、地域コミュニティの活性化を図るためのまちづくりが進められています。

● 経浜、今宿、九大学研都市、周船寺などの鉄道駅を中心に日常生活に便利な商店街や大規模店舗などが多く立地しており、九大学研都市駅前には西部地域交流センター(さいとびあ)が整備されています。

● 海岸線に沿って東西に走る幹線道路(博多経浜線～今宿周船寺線)沿いは、古くから集落が形成されていたため、幅員4m未満の狭い道路が多い地区となっています。特に、経浜や福重などでは、築30年以上の木造建築も多く立地しているため、災害時の安全性などの面で課題となっています。



〔凡例〕

- 都市計画道路等(整備済・概成)
- 都市計画道路(未整備・整備中)
- 自動車専用道路
- 街区公園
- 主な都市公園
- 主な緑地
- 地球公園
- 特別緑地保全地区、緑地保全林地区
- 自転車駐車場(公営)
- 農地の多い区域(市街化区域内)
- 商店街
- 大規模な店舗(1000㎡以上)
- 小学校
- 小学校区界
- その他の教育施設(中、高、大)
- 公共文化施設
- 文化財・寺社
- 市民公園
- 地区計画区域等
- 土地区画整理事業施行地区
- 狭い道路分布地区(4m未満の道路が多い地区)
- 築30年以上の木造建築物が多い地区(築30年以上の木造建築物が50%以上)
- 農用地区域
- 標高80m以上
- 河川・ため池
- 地下鉄
- 鉄道
- 航路
- 市街化区域および市街化調整区域界
- 区界